



小田原市制80周年を迎え



本年、小田原市制80周年を迎えられましたことを心より嬉しく思いますとともに、市民の皆様並びに小田原市を支えてくださっている多くの関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

今から80年前、1940(昭和15)年12月20日、小田原町、足柄町、大窪村、早川村及び酒匂村の一部を合わせて、人口54,699人の小田原市が産声を上げました。その後、市勢を着実に発展させ、1971(昭和46)年に橘町と合併し、現在の小田原市のかたちとなりました。

豊かな自然環境と利便性の高い交通インフラ、長い歴史のなかで育まれた多彩ななりわいや文化を有し、数多くの有形無形の優れた資産に恵まれた都市、小田原。

この80年間には、戦前戦後の時期をはじめとして幾多の苦難の時代もございましたが、これらを乗り越えて、今日このように市勢が伸展いたしました。

さて、現在の小田原市を取り巻く環境としては、人口減少や少子高齢化など、困難な課題が山積しております。

また、本年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、医療・経済面などに甚大な影響を受けたほか、テレワークなど新しい生活様式への転換を求められております。

このような状況に対応し、先人たちが歩んできた軌跡を大切にしつつさらに発展し続けるために、私たちは、この素晴らしい小田原のポテンシャルを最大限に引き出し、生活の質を向上させながら、次代に引き継いでいく責務があります。

地域の魅力と活力を高め、未来を生きる子どもたちが自信や誇り、希望を持って歩んでいける、内外に誇れる素晴らしいまち—世界が憧れるまち“小田原”を目指して、私たちはこれからも歩んでまいります。

小田原市長

守屋 輝彦